





# 光触媒技術による 「新型コロナウイルス」の感染力抑制効果

令和2年10月15日 TKP新橋カンファレンスセンター内会議室

あいだ ようこ 間陽子

## 実験担当者

間 陽子 日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野 上席客員研究員

理化学研究所 科技ハブ産連本部 獣医学博士

東京大学 客員教授

東京農工大学特任教授

松浦遼介 日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野 研究員

理化学研究所 客員研究員 医科学博士

Lo chieh-wen 日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野

東京大学大学院農学国際博士課程

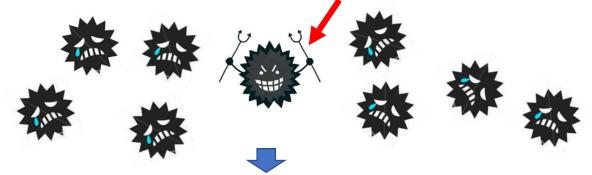


## 解決すべき課題



COVID-19の脅威を完全に取り去ること

<u>本当に脅威なのは「感染性を持ったウイルス粒子」</u>



光触媒は生活環境の中で抗菌・抗ウイルス効果を示す



### 光触媒技術によって環境中の新型コロナウイルスを不活化



新型コロナウイルスと共生する「Withコロナ」の社会を実現するための、 安心できるクリーンな空間を構築することが実現



社会的脅威である新型コロナウイルスを克服の道を拓く

## 目的:

### SARS-CoV-2に対する光触媒の有効性実証試験

- 1) <u>光触媒</u>による液体中のSARS-CoV-2の不活化
- 2) <u>光触媒</u>によるエアロゾル中のSARS-CoV-2の不活化
- 3) 光触媒によるSARS-CoV-2の不活化機序の解析

光触媒:酸化チタン

### 光触媒による液体中のSARS-CoV-2の不活化

#### 【試験条件】

ウイルス:SARS-CoV-2/JPN/TY/WK-521

ウイルス量: 1.0×10<sup>5</sup> TCID<sub>50</sub>

試験時間:0分、15分、30分、60分、90分、120分





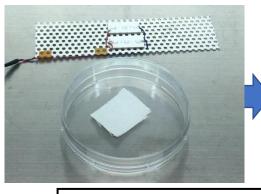


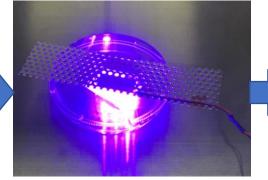


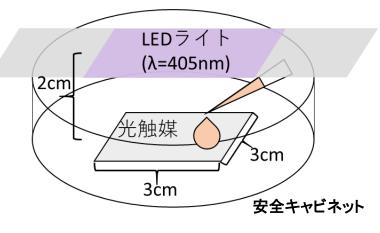




評価法:TCID<sub>50</sub>法





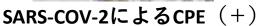


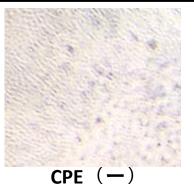
各ウイルス液を10倍段階希釈

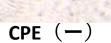


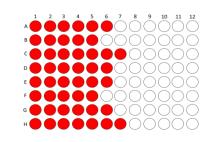
細胞変性効果(CPE)を顕微鏡で観察









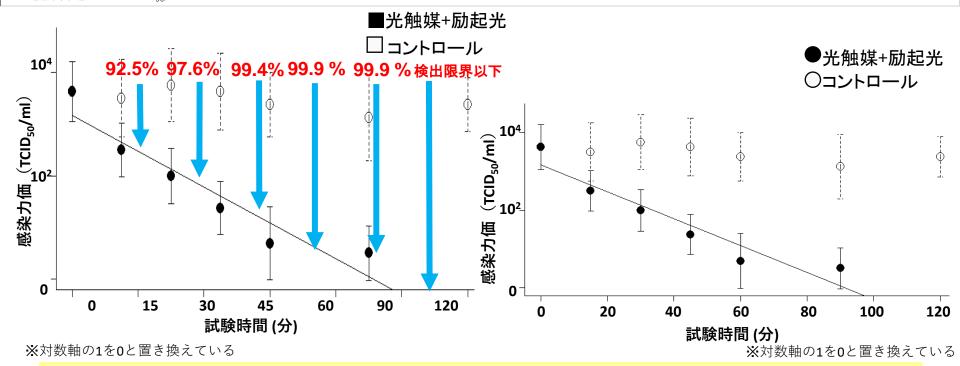


### 光触媒による液体中のSARS-CoV-2の不活化

#### 【試験結果-TCID<sub>50</sub>法】

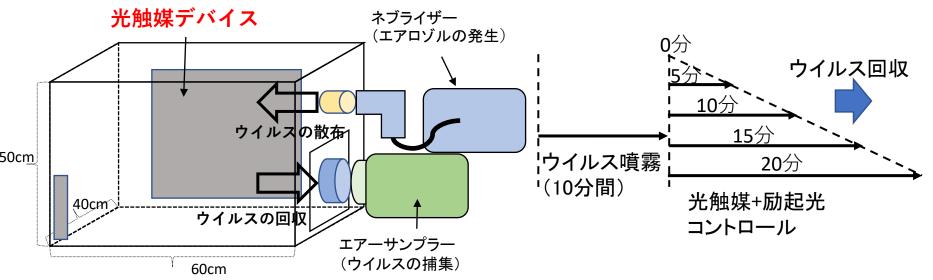
	光触媒+励起光							コントロール						
試験時間	0分	15分	30分	45分	60分	90分	120分	0分	15分	30分	45分	60分	90分	120分
感染力価(TCID50/ml) <sup>※1</sup>	$4.2 \times 10^3$	$3.2 \times 10^2$	$1.0 \times 10^2$	$2.4 \times 10^1$	4.9	3.2	<1.33	$4.2\!\times\!10^3$	$3.2 \times 10^3$	$5.6 \times 10^3$	$4.2\!\times\!10^3$	$2.4 \times 10^3$	$1.3 \times 10^3$	$2.4\times10^3$
対数減少値	_	1.125	1.625	2.25	2.9375	3.125	>3.625	_	0.125	-0.125	0	0.25	0.5	0.25
減少率(%)	_	92.5	97.6	99.4	99.9	99.9	>99.9		3.4	-3.4	0.0	6.9	13.8	6.9

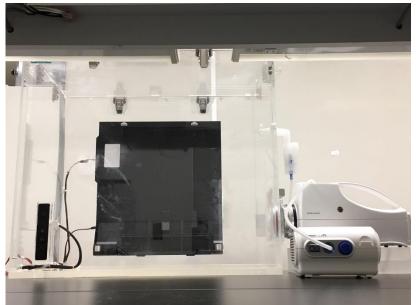
※1 検出下限値:1.33 TCID<sub>50</sub>/mI



光触媒に励起光を120分照射することによって、 液体中のSARS-CoV-2の感染性は検出限界以下となった

# 光触媒によるエアロゾル中の SARS-CoV-2の不活化





#### 【試験条件】

ウイルス: SARS-CoV-2/JPN/TY/WK-521

ウイルス量: 4.1 × 10<sup>6</sup> TCID<sub>50</sub>

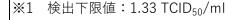
試験時間:0分、5分、10分、15分、20分

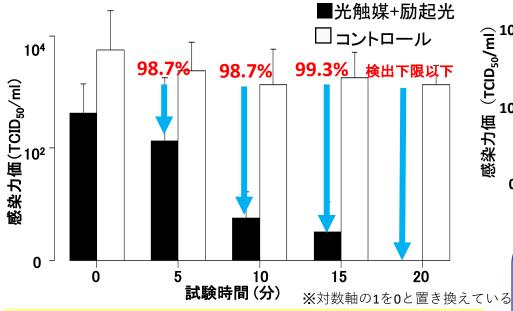
評価法 :TCID<sub>50</sub>法

# 光触媒によるエアロゾル中の SARS-CoV-2の不活化効果

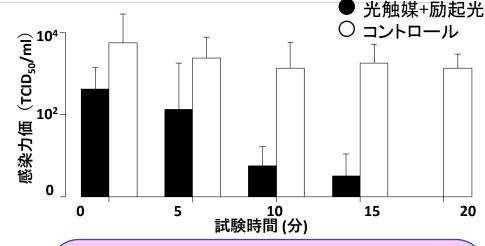
【試験結果-TCID<sub>50</sub>法】

		光触	媒+励	起光		コントロール					
試験時間	0分	5分	10分	15分	20分	0分	5分	10分	15分	20分	
感染力価(TCID50/ml) <sup>※1</sup>	$4.2 \times 10^2$	1.3×10 <sup>1</sup>	5.6	3.2	<1.33	$5.6 \times 10^3$	$2.4 \times 10^3$	$1.3\!\times\!10^3$	$1.8\!\times\!10^3$	$1.3\!\times\!10^3$	
対数減少値	_	0.5	1.875	2.125	>2.625	_	0.375	0.625	0.5	0.625	
減少率(%)	_	68.4	98.7	99.3	>99.8	_	57.8	76.3	68.4	76.3	





光触媒に励起光を20分間照射することによって、エアロゾル中のSARS-CoV-2は検出限界以下となった



光触媒に励起光を照射することで エアロゾル中のSARS-CoV-2を 約6分で90% 約13分で99%

約20分で99.9%不活化が可能

### 世界で初めて、光触媒技術で、<u>空気中に浮遊する</u> 「新型コロナウイルス」の感染性を検出限界以下まで 消失させる効果を実証

- 1) 光触媒による液体中のSARS-CoV-2の不活化:
- 光触媒に励起光を120分照射することによって、液体中のSARS-CoV-2の感染性は検出限界以下となった。
- 2)光触媒によるエアロゾル中のSARS-CoV-2の不活化: 光触媒に励起光を20分間照射することによって、エアロゾル中のSARS-CoV-2は検出限界以下となった。
- 3) 光触媒によるSARS-CoV-2の不活化機序: 光触媒が発生する活性酸素がウイルス粒子表面のSタンパク質の分解 やウイルスRNAを損傷した可能性が一因であることが示唆された。
- 新型コロナウイルスと共生する「Withコロナ」の社会を実現するための 安心できるクリーンな空間を構築

